



“クラス全員毎日夜中の2時まで勉強しました。”

家族のためにお金を稼ぎたいと思い、技能実習生として日本に行くことにしました。日本に行くなら、やはり日本語能力は大事です。相手のことばを理解することすらできないのでは、働くどころではありません。日本に行けるレベルにできるだけ早く到達しようと、一生懸命日本語を勉強しました。

送り出し機関の先生の指導はきめ細かく、わかりやかだったので、やりがいがありました。クラス全員毎日夜中の2時まで勉強しました。先に入學した人が新入生に教えたり、お互いに宿題のチェックをしたりしていました。周囲の努力に励まされました。6か月間で、『みんなのに日本語』の1と2を修了して、中級まで勉強しました。

親切な人と出会いました。

初めての日本で、右も左もわからず空港でキョロキョロしていると、親切な日本人が助けてくれました。

また旅行にいったときの話です。手元の現金が足りなかったのが、片道の切符を買うつもりでしたが、往復になってしまいました。キャンセル方法もわからず困っていると、数人の大学生が「どうしたの」と話しかけてくれました。私がATMを探していることが分かったら、彼らは不足分を払ってくれました。

日本には冷たい人が多いと聞いていましたが、実際はそうでもないんですね。

“仕事がなくて焦っていましたが、特定技能試験の受験勉強に集中しなきゃと自分に言い聞かせました。”

2017年12月に技能実習生として来日しました。2020年、外国人技能実習機構（OTIT）の検定で、私の会社は受け入れ停止になってしまいました。仕事がなくなった私は組合に戻らなければなりませんでした。

あいにく、働けなくなった時期はコロナ禍の最中でした。私が住んでいた所（愛媛県）はコロナ禍がそれほど深刻ではありませんでしたが、ベトナムにいる家族の方が心配していました。

別の受け入れ会社を探してもらっている間に、毎月組合から二万円を援助してもらいました。失業給付ももらっていました。仕事がなくて焦っていましたが、飲食料品製造業の特定技能試験の受験勉強に集中しなきゃと自分に言い聞かせました。すでに日本語能力試験（JLPT）N3には合格していたし、実技試験はなかったの、特定技能の資格の取得はそれほど難しくなかったです。

現在特定技能の資格から通訳の資格に切り換え、愛媛県の組合で働いています。



gia đình nhỏ
thân thương



あなたへのヒント

1 A：突然仕事がなくなった後、どうやって失業保険や特定技能の試験などの情報を手に入れましたか。

Q：失業保険などの情報は組合で共有してもらいました。試験の情報は日本のネットや新聞を読んで、情報があれば、申込みました。他の情報のソースは口コミやSNSなどです。情報が正しいかどうかは、OTITのホームページで確認しました。わからなかったら、グーグル翻訳を使いました。それでもわからなかったら、市役所で働いているベトナム人やベトナム語対応の就労支援センターに連絡しました。

普段から、交流会や日本語ボランティアクラスに参加していたおかげで、困ったときに相談できる友人と知り合いに恵まれました。特に、日本語ボランティアクラスの先生は、ベトナム人スタッフがいるセンターを教えてくださいました。さらに、休みまで取って、就労支援センターへ送ってくれました。

2 生活の日本語を勉強できるサイト



ひ き だ す
に ほ ん ご

Activate Your Japanese!



<https://www.irodori-online.jp.go.jp/>

日本の生活場面で必要となる日本語を学べるサイトです。動画やイラスト、音声などが充実しており、ベトナム語解説もあるので飽きることなく一人でも勉強できます。
レベル：A1～A2

<https://www.hikidasu.jp.go.jp/>

実践的な日本語コミュニケーション力をアップさせるための多くのヒントを学ぶことができる映像教材です。映像はドラマ仕立てになっているので、楽しんで学習できます。
レベル：A2～B1